

会議の名称	令和5年度 第3回 地域包括支援センター運営協議会		
日時	令和6年3月21日(木)	会場	産業文化会館 2階 会議室
13:25	1 開会あいさつ 千野会長、須貝福祉介護課長(司会:河内)		
13:36	2 議題 進行:千野会長 (1)地域包括支援センター運営状況評価の結果について【資料1】 取り組み状況の100%とはどういうことなのでしょうか。何かチェック項目で確認しているものなのか、指標はどんなものなのでしょうか。 委員) 県の調査で様々な項目があり、かなりの数の回答をする。評価項目のうち何項目該当するかによるものになっています。 事務局) 1つ1つクリアして、この数値になっているのですね。		
13:45	(2)令和6年度地域包括支援センター運営方針(案)について【資料2】により説明		
13:50	(3)令和6年度地域支援事業実施計画(案)及び地域包括支援センター事業実施計画(案)について【資料3】【資料3-1~5】 委員) ちゅーりっぷ苑は新たに令和6年度スタートとなるが、4月から事業所として稼働するが、職員体制についてお聞かせください。 事務局) 新たに4月1日からデイホームさくらの事務所に併設する。3名体制で、主任介護支援専門員は管理者で、居宅介護支援事業所からの異動、社会福祉士は、同法人内の異動で別な場所で経験がある方。経験のある看護師は、小規模多機能で在宅の経験があり、病院の経験もある方で、地域と人と関わりたい希望のある方となっております。		
14:20	(4)介護保険事業計画における「自立支援・介護予防又は重症化予防に関する取組と目標」について【資料4】により説明		
14:27	(5)胎内市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画について【資料5】 委員) 文字が大きくなり、読みやすいと感じました。これからの高齢化の様子、私が理解できるように記載されていました。漢字の表記については統一したほうがよいと思いました。例えば、「良い」と「よい」や、「持って」と「もって」の活用の仕方など、再度調整をお願いします。3ページ目の、「令和7年度以降の社会の情勢への対応」について、団塊の世代のことがわかるように記載してほしいことと、データの出展の表記があればよいと思います。 事務局) 再度確認し、明確にし、修正していきます。ご指摘ありがとうございました。 委員) 様々な計画があるが、計画を実施するためには、この計画を共有することが大切だと思います。誰が利用するのかや、具体的な手法など様々あるので。 包括の計画は、全員で共有するものなのでしょうか。自己評価できるような機会を設けることで、センターとしての振り返りができ、意識できると思います。みんなで定期的に行うことで最終的に生きてくる。センターと市の計画とのつながりが結び付きにくいのでわかるようにしてほしいと思いました。 事務局) 認定率について、資料4の目標は見える化システムで推計の数値、計画のものは介護保険事業報告のものです。様々同様の取り組みを行っていて、時期の違いはあります。同じ厚生労働省でも様々なデータが活用されており、高齢化率と認定率が明確に関係しているわけでもないと考えています。		
	(6)指定介護予防支援事業所の指定について【当日資料】により説明 承認		

- 14 : 45 3 その他
委員) 認知症総合支援事業の初期集中支援事業において、チーム員会議が2か月に1
14 : 45 回開催されている、支援した件数を教えてください。
事務局) 令和5年度は2件です
委員) 定期的に会議を開催しています。軽度認知症の診断あり、自宅での生活で様々な
問題を抱えた方への支援について検討しています。初期集中支援チームで、支援の必
要な方の課題を検討し、支援方針を決めています。家庭訪問の日程や支援の方向性を
決めるなど、つなぎ役の役割も担っています。ています。ケースバイケースなのでその都
度対応しているところもあります。
- 4 閉会挨拶 宮本副会長
- 14 : 50 (14:50 終了)